

総括研究報告書

研究代表者 森 臨太郎 国立成育医療研究センター研究所 成育政策科学研究部長
研究分担者 古川 壽亮、水上 尚典、田村 正徳、堀内 成子、津富 宏、米本 直裕

研究要旨

根拠に基づく母子保健を実現するために、母子保健分野に関する科学的根拠について、国内外の情報を網羅的かつ系統的に収集し、定期的に国内外に情報発信する体制を整備することが必要である。母子保健分野において、科学的根拠をまとめていく動きが国内でも海外でも加速している。根拠に基づく母子保健が根付くためにも、コクラン共同計画と連携してワークショップを開催して、日本における系統的レビューの基盤整備が必要であり、この研究班のこの基盤整備への成果は着実に示されている。

分担研究者:

古川 壽亮 京都大学大学院医学研究科、
臨床疫学・認知行動療法・精神薬理学
水上 尚典 北海道大学大学院医学研究科
産科・生殖医学分野
田村 正徳 埼玉医科大学総合医療センター、
小児科
堀内 成子 聖路加看護大学看護学部、母
性看護・助産学
津富 宏 静岡県立大学国際関係学部
米本 直裕 国立精神・神経医療研究セン
タートランスレーショナルメディカルセン
ター

A. 研究目的

根拠に基づく母子保健を実現するために、母子保健分野に関する科学的根拠について、国内外の情報を網羅的かつ系統的に収集し、定期的に国内外に情報発信する体制を整備することが必要であり、本研究はこのような体制整備を通して、我が国における根拠に基づく母子保健を推進し、かつ世界の母子保健に貢献することを目的としている。

B. 研究方法

①所管課や国内外の関連機関と協議し、母子保健の現重要課題に関して、医療系データベース等を網羅的検索し、検索された研究を系統的に批判的吟味し、結果抽出したうえで統計的に統合（メタ解析）、すなわちコクラン共同計画の方法論に沿った系統的レビューを施行・出版し、広く国内外に発信して情報共有を行う。②国内外関連機関と連携して、プロトコール作成、批判的吟味、メタ解析、結果解釈などの方法論に関するワークショップ及び、学会や教育現場における意識啓発・教育・情報提供を定期的に行い、同時に、我が国で系統的レビューを行っている著者や研究者へ方法論や発信手法などに関するきめ細かい支援も行うことで、人材強化を行う。③我が国の出生届・死亡届等政府統計の分析を加えることで情報を多角的に強化する。④日本の母子保健における臨床研究を世界に発信するための検討を行う。④国内外の機関との関係を強化し、新たに連携できる人材や組織の発掘や育成を行う。

（倫理面への配慮）

系統的レビュー（メタ解析）は、一般的に公開されている研究情報をもとに行う二次データ分析として位置付けられているた

め、倫理的な問題は少ないが、疫学研究の倫理指針および、コクラン共同計画の国際倫理指針など、国内外の社会的研究に関するガイドラインを遵守した。

倫理的課題が大きい、ヒトゲノム研究、ヒト幹細胞を用いる研究、遺伝子治療研究、動物実験は行っていない。

C. 研究結果

コクラン妊娠出産グループとの連携とコクランワークショップによる系統的レビューの手法ワークショップと人材育成（森 臨太郎、大田えりか）

2012年6月に、米国コクランセンター、英国コクランセンター、豪州コクランセンターの推薦を受け、コクラン妊娠出産グループ日本支部を我が国で初めてにして唯一のコクラン共同計画の正式な組織として国立成育医療研究センター成育政策科学研究部に設立した。

このコクラン妊娠出産グループ日本支部になることで、コクラン共同計画本部からの支援を受けて、日本で初めてとなる、コクランワークショップを開催した。コクランワークショップでは、質の担保をはかるため、すでにタイトル登録を済ませた研究者のみの参加となり、2012年9月には、導入特別ワークショップとして、コクランタイトル登録ワークショップを開催し、18人が参加した。同年11月にはコクランプロトコル作成ワークショップを、2013年2月には、コクランレビュー作成ワークショップを開催した。11月のワークショップは28人の参加、2月のワークショップは30名の参加と、毎回満員の申し込みとなった。

また、日本疫学会からの要請により、日本疫学会夏季セミナーにて系統的レビューセミナーを開催し、80名の参加（満員）となった。

これらのコクランレビューや系統的レビューのワークショップは評価も高く、常に満員状態で、参加者からはすでにレビューのタイトル登録や、プロトコル作成の実績が生まれはじめ、関心の高さと研究の効果が示された。

ネットワークメタアナリシス：

Comparative Effectiveness Research のための次世代メタアナリシス（古川 壽亮、本屋敷美奈、篠原清美、今井必生、田近亜蘭、Alessandro Pompili、Rachel Churchill、Deborah Caldwell、Georgia Salanti）

医学は進歩し、さまざまな疾患に対して複数の有効な治療法が存在するようになってきた。しかし、これらの、個々に有効な、すなわちプラセボ対照群に比して優越性を示した治療法の中で、どれが一番優れた治療法であるかについては、しばしば明確なエビデンスが存在せず、患者・家族も医療者も治療の選択に迷う場合が多い。複数の有効な治療選択肢の間のメリットとデメリットを明らかにする研究を **comparative effectiveness research** と呼ぶ。それには実際に有効な治療選択肢同士を比較する無作為割り付け比較試験（有効な治療選択肢の間での比較になるので、大きな効果サイズの差は期待できず、したがってサンプルサイズが大きなメガトライアルが必要になることが多い）と、既存の無作為割り付け比較試験を統合して直接比較がない選択肢の間でも間接比較を通じて治療選択肢間の優劣を検討するネットワークメタアナリシスがある。今回、われわれは、うつ病およびパニック障害をテーマにネットワークメタアナリシスを遂行する国際チームを組み、その方法論的検討を経て、プロトコルを完成した。

妊産婦の保健に関する科学的根拠に関する研究（水上 尚典）

日本産科婦人科学会周産期登録 database (2005年1月～2008年12月)を用いて妊娠22週以降分娩品胎妊娠短期予後について検討した。登録症例数は320例(母体数、一絨毛膜性8例、二絨毛膜性75例、三絨毛膜性150例、膜性不明87例)であり、同期間本邦全品胎数892例の36%を占めた。315例(98%)が帝王切開分娩であった。分娩週数(mean±SD)は 32.3 ± 2.8 で、97%、61%、14%が37週未満、34週未満、30週未満で分娩となった。児の出生体重は大きい順に 1762 ± 437 g, 1608 ± 396 g, and 1406 ± 380 gであった。妊婦18名(5.6%)は児の周産期死亡を経験した(3児とも死亡1名、2児死亡4名、1児死亡13名)。全体の周産期死亡率(児1000例当たり)は25であったが、絨毛膜数増加につれ減少した(一絨毛膜では125、二絨毛膜では44、三絨毛膜では20)。これら結果は本邦品胎妊娠の短期予後は比較的良好であることを示している。また、これら data は品胎妊婦カウンセリング時に有用である。

小児保健に関する科学的根拠に関する研究(田村 正徳、加藤 稲子、照井 克生、松田 祐典)

母子保健分野に関する科学的根拠を適切に評価するため、コクラン共同計画へ参加する。母子保健の現重要課題に関して、コクラン共同計画の方法論に沿って、系統的レビューを行う。

本研究では、帝王切開時の全身麻酔薬に関するタイトル登録を行った。帝王切開は増加傾向にあり、その麻酔法や麻酔薬は母子保健へ多大な影響を与える。今回のタイトル登録の際の調査結果から、適切な麻酔導入薬の選択により、新生児への不必要な医療的介入を減少させることが示唆された。また、適切な麻酔維持薬の選択は、母

体の弛緩出血を減少させ、妊産婦死亡を減少させることが予測された。

国際蘇生法連絡委員会(International Liaison Committee on Resuscitation: ILCOR) ガイドライン策定におけるコクランレビュー活用の検討(田村 正徳、杉浦 崇浩)

目的：国際蘇生法連絡委員会(International Liaison Committee on Resuscitation: ILCOR)では2015年のConsensus on Science with Treatment Recommendations (2015CoSTR)の改定にむけて蘇生法に関する各PICO形式の臨床課題に関連したシステマティックレビューの文献の評価法としてGRADE(Grading of Recommendations Assessment, Development and Evaluation)システムを導入予定である。今回ILCORの従来論文評価法と比較して、GRADEシステムを採用した既存のコクランレビューを活用することが有用かを検討する。その試験導入として2012年12月のILCORの新生児部会においてコクランレビューを活用したGRADE evidence profileおよびGRADE finding tableを例として発表し、意見を収集した。

結果：コクランレビューを活用することにより、より客観的で質の高い評価表を作成できた。またその評価結果はILCOR新生児部門会議において受け入れは良好であった。

考察：コクランレビューを活用することによりILCORの新しい国際的蘇生法のガイドライン作成が、より客観的に評価された文献に基づいて遂行しうると期待される。

人材育成および助産ケアに関する科学的根拠(堀内 成子、八重 ゆかり、片岡 弥恵子、江藤 宏美)

コクラン活動に関連するセミナー、シンポジウム開催およびコクラン・システマテ

ィック・レビュー作成を通して、看護・助産分野におけるコクラン・コラボレーション活動に関する知識の普及と人材育成を行うことを目的とする。初年度は、コクラン・システマティック・レビューワー育成を目指した基礎セミナーを2回開催し、98名の参加者を得た。

レビュー活動の進捗状況では、二つのタイトルが進行中である。【分娩後出血に対する予防介入効果】はコクラン・システマティック・レビューに着手しドラフト第1稿を完成した。また【分娩第3期における出血に対するホメオパシーの効果】に関するコクラン・システマティック・レビューのタイトル登録申請が受理され、プロトコル作成に着手した。

次世代育成に資する社会科学的根拠に関する研究（津富 宏）

本研究は、教育、刑事司法、社会福祉の分野における、国際的なエビデンス共有プロジェクトであるキャンベル共同計画の日本における推進を行うことを目的とする。そのために、キャンベル共同計画日本語ウェブサイトの運営をつうじて、キャンベル共同計画の成果である、キャンベルレビューを日本語訳したうえで提供する。本年度は、3本のレビューを新規アップロードしたが、2013年3月初め時点で、38本の未翻訳レビューを抱えており、翻訳の進捗は非常に遅れている。今後は、何らかの固定的な資金を得て、事務局員を含む、翻訳体制を固めなければ、とても対応できないものと思われる。来年度からは、訳出方針の見直しも含め、財政的な裏付けの確保により一層努力する必要がある。

周産期におけるネットワークメタアナリシスの適用事例に関する研究（米本 直裕）

近年、新しいメタアナリシスの方法として、ネットワークメタアナリシスが提案され、さまざまな分野で適用されている。そこで、周産期におけるネットワークメタアナリシスの適用事例を探索し、その可能性と限界を検討した。周産期の研究でも未だ数は少ないが、適用例がみられる。方法論上は多くの問題点も指摘されており、適用の際には、入念な研究計画を立て、メリットと限界について十分な検討が必要であると思われる。

出生届など人口動態統計や各種政府統計を使用したデータ分析による母子保健分野の情報発信に関する研究（森 臨太郎、森崎 菜穂）

出生届、死亡届、乳幼児発育調査など、情報発信のために必要な情報について整理し、データの二次利用に関する申請を行い、データ分析のための整備を行った。

D. 考察

母子保健分野において、科学的根拠をまとめていく動きが国内でも海外でも加速している。根拠に基づく母子保健が根付くためにも、コクラン共同計画と連携してワークショップを開催して、日本における系統的レビューの基盤整備が必要であり、この研究班のこの基盤整備への成果は着実に示されている。

謝辞

コクラン共同計画の本部、コクラン妊娠出産グループ、世界保健機関、日本医療機能評価機構、ワークショップの参加者、関連研究者に協力を感謝する。

引用文献・出典

なし

F. 研究発表

1. 論文発表

1. Sasaki H, Yonemoto N, Hanada N, Mori R. Methods for administering subcutaneous heparin during pregnancy. Cochrane Database of Systematic Reviews 2013, Forthcoming
 2. Balogun OO, Hirayama F, Wariki WMV, Koyanagi A, and Mori R. Interventions for improving outcomes for pregnant women who have experienced genital cutting. Cochrane Database of Systematic Reviews. Forthcoming
 3. Shahrook S, Mori R, Ochirbat T, Gomi H. Strategies of testing for syphilis during pregnancy. (Protocol) Cochrane Database of Systematic Reviews. Forthcoming
 4. Chiba H, Masutani S, Toyoshima K, and Mori R. Indomethacin for preterm infants with intracranial haemorrhage. Pediatrics International. Forthcoming
 5. Kawaguchi A, Isayama T, Mori R, Minami H, Tamura M, and Yang Y. Hydralazine for pulmonary hypertension in low birth weight infants with evolving chronic lung disease. Cochrane Database of Systematic Reviews. Forthcoming
 6. Fitzgerald A, Mori R, and Lakhanpaul M. Antibiotics for treating lower urinary tract infection in children. Cochrane Database of Systematic Reviews. 2012;8:CD006857
 7. Mori R, Ota E, Middleton P, Tobe-Gai R, Mahomed K, Bhutta ZA. Zinc supplementation for improving pregnancy and infant outcome. Cochrane Database of Systematic Reviews 2012;7:CD000230
 8. Sado M, Ota E, Stickley A, and Mori R. Hypnosis during pregnancy, childbirth, and the postnatal period for preventing postnatal depression. Cochrane Database of Systematic Reviews. 2012;6:CD009062
 9. 森 臨太郎(国立成育医療研究センター研究所 成育政策科学研究部) 地球規模における女性と子どもの健康 小児保健研究(0037-4113)71 巻 5 号 Page621-628(2012.09) 総説
 10. 森 臨太郎(国立成育医療研究センター研究所 成育政策科学研究部) 国際的視野から見た日本の周産期医療の課題 日本周産期・新生児医学会雑誌(1348-964X)48 巻 2 号 Page260(2012.06)
- G. 知的財産権の出願・登録状況**
1. 特許取得 なし
 2. 実用新案登録 なし
 3. その他 なし

【アンケート】第1回コクラン妊娠出産グループプロトコールワークショップ

二日に渡るワークショップお疲れ様でした。アンケートによる参加者の皆様のお声を反映させ、今後のより良いワークショップの運営に努めてまいりたいと考えております。ぜひとも下記のアンケートにご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

* Required

Did you find the workshop interesting? *

- poor
- fair
- good
- excellent

Was it useful? *

- poor
- fair
- good
- excellent

Was the workshop paced appropriately? *

- poor
- fair
- good
- excellent

Was the content easy to understand? *

- poor
- fair
- good
- excellent

Were the handouts clear? *

- poor
- fair
- good
- excellent

Was the workshop well prepared? *

- poor
- fair
- good
- excellent

Overall evaluation *

- poor
- fair
- good
- excellent

Do you have any suggestions for logistical and operational aspects of the program? (e.g. announcements, classroom selection, seat arrangement, sound in the classroom, etc) *

You can answer in English or Japanese.

Other comments: please provide any comments. *

You can answer in English or Japanese.

Powered by [Google Docs](#)

[Report Abuse](#) - [Terms of Service](#) - [Additional Terms](#)

【アンケート】第2回コクラン妊娠出産グループプロトコールワークショップ

二日に渡るワークショップお疲れ様でした。アンケートによる参加者の皆様のお声を反映させ、今後のより良いワークショップの運営に努めてまいりたいと考えております。ぜひとも下記のアンケートにご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

* Required

Did you find the workshop interesting? *

- poor
- fair
- good
- excellent

Was it useful? *

- poor
- fair
- good
- excellent

Was the workshop paced appropriately? *

- poor
- fair
- good
- excellent

Was the content easy to understand? *

- poor
- fair
- good
- excellent

Were the handouts clear? *

- poor
- fair
- good
- excellent

Was the workshop well prepared? *

- poor
- fair
- good

excellent

Overall evaluation *

poor

fair

good

excellent

Do you have any suggestions for logistical and operational aspects of the program? (e.g. announcements, classroom selection, seat arrangement, sound in the classroom, etc) *

You can answer in English or Japanese.

Other comments: please provide any comments. *

You can answer in English or Japanese.

Powered by
Google Drive

This content is neither created nor endorsed by Google.

[Report Abuse](#) - [Terms of Service](#) - [Additional Terms](#)

Timestamp	Did you find the workshop interesting?	Was it useful?	Was the workshop paced appropriately?	Was the content easy to understand?	Were the handouts clear?	Was the workshop well prepared?	Overall evaluation	Do you have any suggestions for logistical and operational aspects of the program? (e.g. announcements, classroom selection, seat arrangement, sound in the classroom, etc)	Other comments: please provide any comments.
11/3/2012 11:43:58	excellent	excellent	excellent	excellent	excellent	excellent	excellent	学習環境はとてもよかったです。PC、ネットも使用来て、効率的に学ぶことができました。昼食やコーヒーもおいしかったです。 ネットワーク作りの雰囲気もよく、和んだ雰囲気心地よかったです。また、参加したいという気持ちになりました。	このような学習の機会を企画していただき、ありがとうございました。英語のワークショップもいいのですが、日本語だと細かいところまで理解でき助かりました。次回も参加したいと思います。
11/3/2012 12:04:05	good	excellent	good	good	excellent	excellent	excellent	ソフトのインストールも含めて、最終プログラムを少し前にお送りいただけたら有り難かったです。メールに埋もれてしまい見つけるのに苦労してしまいました。でも、それ以上に学びも多く、有意義な時間でした。有難うございます。	長時間のご講義ありがとうございました。今後とも宜しくお願い申し上げます
11/3/2012 12:04:20	good	excellent	good	good	excellent	excellent	excellent	ソフトのインストールも含めて、最終プログラムを少し前にお送りいただけたら有り難かったです。メールに埋もれてしまい見つけるのに苦労してしまいました。でも、それ以上に学びも多く、有意義な時間でした。有難うございます。	長時間のご講義ありがとうございました。今後とも宜しくお願い申し上げます
11/3/2012 12:06:28	good	excellent	good	good	excellent	good	excellent	少人数のグループによるグループワークがあれば、より親睦が深まったかもしれません。今後御検討頂ければ幸いです。	今回のworkshopでは、特にRevManの使用法の部分が秀逸でした。具体的な手ほどきをマンツーマンで受けたような驚沢感を感じました。モチベーションも上がり、最高にテンションも上がりましたが、残念ながらプロトコルのアプライは不採用となりました。残念ですし、多くの方にお世話になったにも関わらず、大変申し訳ありませんでした。今後も研鑽を積み、再挑戦させて頂きます。本当にありがとうございました。今後とも御指導、御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。
11/3/2012 12:27:14	excellent	excellent	good	excellent	excellent	excellent	good	The workshop will be able to make more shortly.	京都大学大学院医学研究科 社会健康医学専攻 専門職学位過程 健康情報学分野 後藤 禎人 Thank you for providing workshop. I suppose I can make Cochrane Reviews now.
11/3/2012 12:36:41	excellent	excellent	excellent	excellent	excellent	excellent	excellent	素晴らしい環境で受講出来ましたことを大変ありがたく思います。	継続的な運営は大変かと思いますが、今後のお知らせもお待ちしております。どうか宜しくお願いします。
11/3/2012 14:43:01	excellent	excellent	good	excellent	excellent	excellent	excellent	会場は、遠方の方にとってはもしかするともう少しアクセスのいい場所の方がいいのかもしれませんが、私は都内在住なので全く問題ありませんでした。広さもキレイさも環境も、食事もお茶の時間的タイミングも最高でした。	リスクオプバイアスの判定のところに重点をおいたワークショップも希望します。 大変価値ある有意義なWS、ありがとうございました！特に、系統的な文献検索手法など、研究者にとって、最重要基本事項にも関わらず、私もそうですが、みんな、図書館講習レベルで、こういった正確な網羅的検索方法を教えてもらったのは初めてでしたので、本当に感動しました。これには院生個人個人、みんな困っており、通常の研究を行っていく上で、真に正しいエビデンスを出す上で、大学院教育として必須だと感じました。 日本ではまだ、臨床で実際にエビデンスを使っていく方や、院生の間でも、"systematic review"という言葉は聞いたことあって、重要らしいっていうことは知っているけど..."という段階で、もっと周知させてあげなければならないことを身の回りの話からも実感しており、日本の認知を拡大させることの重要性が非常に伝わってきました。 authorとなって貢献出来るように頑張りたいと思います。また2月も参加させて頂きたいと思っており、よろしくお願ひ致します。
11/3/2012 15:12:09	excellent	excellent	excellent	good	excellent	excellent	excellent	ハンドブックのどの部分を重点的に読んでおくか理解しやすいのか、事前に情報があるよりセミナーの内容が分かりやすかったと思います (ハンドブックすべてを読んでセミナーに挑むのは時間的に難しかったので)	実際にRevmanを動かして図を作る段階では、何のためにこの図が必要で... というところを図を作る前にご説明いただくと、図の必要性が分かり、自分のレビューの際に役立つと思えました。ついていくのに必死だったことありますが、ただの作業になってしまいました。

Timestamp	Did you find the workshop interesting?	Was it useful?	Was the workshop paced appropriately?	Was the content easy to understand?	Were the handouts clear?	Was the workshop well prepared?	Overall evaluation	Do you have any suggestions for logistical and operational aspects of the program? (e.g. announcements, classroom selection, seat arrangement, sound in the classroom, etc)	Other comments: please provide any comments.
11/3/2012 15:29:06	excellent	excellent	good	good	excellent	excellent	excellent	大変内容の濃い研修会でした。実践もありましたので、申し分ないのですが、実践は自分にとっては速くて付いて行くのが精一杯でした。今後再度繰り返して、Review Managerの使い方を覚えていきたいと思ひます。	とても有意義なセミナー・研修会でした。随時質問ができるところが良かったです。 The workshop was a good chance to start writing systematic reviews. Thank you!
11/3/2012 15:43:09	excellent	excellent	good	good	fair	excellent	excellent	No requests.	Thank you!
11/3/2012 16:55:10	excellent	excellent	good	good	excellent	excellent	excellent	None	Thank you for a wonderful workshop. It is very useful.
11/3/2012 17:29:04	good	excellent	good	excellent	good	good	good	実際のreview articleの作成、出版過程などの紹介があると更に参考になるかもしれません。	どうもありがとうございました。 会場はワークショップ定員の20-25名を超える人数が入れそうでしたが、先生方が個別に適宜指導できるようやはり定員は多くとも30名程度が良いのではないと思ひました。
11/3/2012 23:07:15	excellent	excellent	good	good	good	good	good	マイクの音量が少し小さかったような気がします。	ワークショップに参加させていただきありがとうございました。 とても緊張して参加したのですが、リラックスした雰囲気教えていただけたので、2日間萎縮することなく過ごすことができ、はやく自分もやってみたくて夢が膨らみました。ありがとうございます。
11/4/2012 0:13:56	excellent	good	good	good	excellent	excellent	excellent	Review Managerを使った演習は、手元のパソコン画面の中で操作する部分を探しているうちに、進行に追いつけなくなってしまいました。 前もって家で試して、画面に慣れておけばよかったと思ひました。 平日の開催でもあり、個人的な理由で恐縮ですが遠方からの参加のため、具体的な開始日時などを早めに(できれば1か月前ぐらいから)公表して頂けると助かります。 初めて来た際、成育医療センターまでの交通機関が分かりづらかったです。	
11/4/2012 17:27:29	excellent	excellent	good	good	good	excellent	excellent	メーリングリストに現在参加している面々についてよく分からないので、質問を投げかけづらいです(プロトコール・レビュー作成に対する質疑応答専門のBBSなりMLなりが欲しいです)。現在のメーリングリストは、恐らくかなり広範囲の方々(偉い方も含めて)が登録されているのではないだろうか。	大変分かりやすい講義ありがとうございました。 個人的にはまだレジストレーションが完了していないため、実際に本物が始まって空の方がより分かりやすかったと感じています(自身でArchieに入れないなど)。
11/4/2012 21:25:06	good	good	excellent	good	excellent	excellent	excellent	特にありません。 ありがとうございました。	特にありません。 ありがとうございました。 すばらしい機会を提供していただき、どうもありがとうございました。
11/5/2012 12:22:16	excellent	excellent	good	excellent	excellent	good	excellent	Web-based training opportunities	とてもモチベーションが高まりました。 先生方のご尽力に深くお礼申し上げます。 今後ともどうぞよろしくお願い致します。
11/6/2012 11:26:24	good	good	fair	fair	fair	good	good	個人のタイトルで練習する時間がもう少し多いと実際に書く際の応用の仕方を勉強しやすいように感じました。	参加させていただきありがとうございました。 大変勉強になりました。 今後ともよろしくお願い致します。 Revmanの使用のみならず、他の受講者の方との交流ができたのが良かった
11/7/2012 0:01:19	excellent	excellent	good	good	good	excellent	excellent	Revmanの使用方法を、実際に使用してから再度聴講したいと思ひました 目的が明確で分かりやすかったです。	太田先生の説明は実際に聞いた箇所を元に説明されており、とてもわかりやすかったです、実践的だった お忙しい中、企画、準備、食事の用意まで本当にありがとうございました。
11/14/2012 14:34:25	excellent	excellent	good	excellent	excellent	excellent	excellent	RevMan5の使い方は若干ペースが早い印象がありました が、個人的には問題ありませんでした。	ここまで受講して成果物を出せないとダメですね。 今後とも宜しくお願い致します。

Timestamp	Did you find the workshop interesting?	Was it useful?	Was the workshop paced appropriately?	Was the content easy to understand?	Were the handouts clear?	Was the workshop well prepared?	Overall evaluation	Do you have any suggestions for logistical and operational aspects of the program? (e.g. announcements, classroom selection, seat arrangement, sound in the classroom, etc)	Other comments: please provide any comments.
2/8/2013 23:44:13	excellent	excellent	good	good	good	excellent	excellent	Very nice workshop for starting systematic review	Many young investigator should learn how to review, make presentation, debate before original research.
2/9/2013 0:14:08	excellent	excellent	good	excellent	good	good	excellent	It was a wonderful program systematically introduced the whole process of how to doing a systematic review and meta-analysis. I learned a lot from these lectures. Thank you so much.	It will be wonderful if you can provide some Q & A according to some advance topic.

Timestamp	Did you find the workshop interesting?	Was it useful?	Was the workshop paced appropriately?	Was the content easy to understand?	Were the handouts clear?	Was the workshop well prepared?	Overall evaluation	Do you have any suggestions for logistical and operational aspects of the program? (e.g. announcements, classroom selection, seat arrangement, sound in the classroom, etc)	Other comments: please provide any comments.
2/9/2013 2:32:07	excellent	excellent	good	excellent	excellent	excellent	excellent	<p>お昼も、コーヒーブレイクも美味しくて、本当にちょうどよく集中できました。</p> <p>初日の講義の時の会場側のライトは、もう少し明るくてもいいかも思いました。</p>	<p>非常に有意義かつ内容のつまった貴重なWSに参加でき、光栄でした。</p> <p>本日は別件で都合が悪く、参加不可の予定でしたが、初日の内容に非常に感化され、どうしてもWSに参加したくなり、もう一方の方の予定をあきらめ、大幅に遅れて参加することにしました。</p> <p>そのため、本日は早退せざるを得ず、ぎりぎりの時間まで参加させて頂いていたせいもあり、退室時にご挨拶もできず申し訳ありませんでした。</p> <p>私は病院前心停止系の研究に携わっており、このたび、たまたま、岡田先生やの野乃木先生にお会いできたことで、蘇生界のレビュー等に対する注目度も知ることができ、統計的レビューへの思いがさらに大きくなりました。</p>

Timestamp	Did you find the workshop interesting?	Was it useful?	Was the workshop paced appropriately?	Was the content easy to understand?	Were the handouts clear?	Was the workshop well prepared?	Overall evaluation	Do you have any suggestions for logistical and operational aspects of the program? (e.g. announcements, classroom selection, seat arrangement, sound in the classroom, etc)	Other comments: please provide any comments.
2/9/2013 2:32:07	excellent	excellent	good	excellent	excellent	excellent	excellent	<p>お昼も、コーヒープレイクも美味しく、本当にちょうどよく集中できました。</p> <p>初日の講義の時の会場側のライトは、もう少し明るくていいかと思って思いました。</p>	<p>くなりました。</p> <p>Gradeは、やはり結構、主観が入るもので、しっかりトレーニングを積んだ実務者の育成が急務だろうと感じました。</p> <p>このたび学んだことを貢献すべく、まずは自分のものに出来るように復習をしたいと思えます！</p> <p>あの、前回同様に資料のPDFをいただけると、幸いです。</p> <p>このたびは本当に貴重なWS、感動しました。ありがとうございました。</p>

Timestamp	Did you find the workshop interesting?	Was it useful?	Was the workshop paced appropriately?	Was the content easy to understand?	Were the handouts clear?	Was the workshop well prepared?	Overall evaluation	Do you have any suggestions for logistical and operational aspects of the program? (e.g. announcements, classroom selection, seat arrangement, sound in the classroom, etc)	Other comments: please provide any comments.
2/9/2013 3:34:12	excellent	excellent	excellent	good	good	good	excellent	プロジェクトの光量が少なく、ややスライドが見づらかったです。	facebookでコクラン関係者のグループページを作成されてはいかがでしょうか。MLより気軽に情報のshareができ、外部広報も簡単にできます。多くの方にコクランを周知頂くうえでも有用かと思えます。(実際に著者になって精力的に活動できるわけではない方も多くなっていくかとは思いますが)
2/9/2013 6:18:20	excellent	excellent	excellent	excellent	excellent	excellent	excellent	Cochrane Reviewは英語で書くものという事は理解していますが、スライドの資料は英語と日本語訳と双方があるとよいと思いました。	本ワークショップはSystematic Reviewを行う際に有用であるのはもちろんですが、Clinical Trialを実施したり論文化する時に考えるべき事項(バイアスやデータ)を再考できるよい機会となりました。

Timestamp	Did you find the workshop interesting?	Was it useful?	Was the workshop paced appropriately?	Was the content easy to understand?	Were the handouts clear?	Was the workshop well prepared?	Overall evaluation	Do you have any suggestions for logistical and operational aspects of the program? (e.g. announcements, classroom selection, seat arrangement, sound in the classroom, etc)	Other comments: please provide any comments.
2/9/2013 7:22:16	excellent	excellent	excellent	excellent	excellent	excellent	excellent	1日でも可能だったかもしれませんが、コクランレビューを書くほどの人なら内容を理解していることは期待していいかもしれませんが、最初にコクランレビュー作成全体の流れと、GRADE systemの全体像を解説すると良かったと思います。	定期的開催し、コクランレビューを書く人が増えることを期待します。
2/9/2013 14:43:08	excellent	excellent	good	excellent	excellent	excellent	excellent	特にありません。	特にありません。
2/9/2013 21:38:28	excellent	excellent	excellent	excellent	excellent	excellent	excellent	特にございません。	今後もプロトコル・レビューを書き始めたら疑問が出てくると思いますので、どうぞ宜しくお願いします。
2/11/2013 10:32:17	excellent	excellent	good	excellent	good	excellent	excellent	特になし	実践もあり、解りやすく良かったと思います。今後定期的なワークショップが開催され、進め方の相談や質問がその都度できると有難いです。
2/11/2013 12:01:41	excellent	excellent	excellent	excellent	good	good	excellent	None.	Thank you very much for all your dedicated work.

Timestamp	Did you find the workshop interesting?	Was it useful?	Was the workshop paced appropriately?	Was the content easy to understand?	Were the handouts clear?	Was the workshop well prepared?	Overall evaluation	Do you have any suggestions for logistical and operational aspects of the program? (e.g. announcements, classroom selection, seat arrangement, sound in the classroom, etc)	Other comments: please provide any comments.
2/11/2013 17:22:47	excellent	excellent	good	excellent	excellent	excellent	excellent	グループワークが増えれば、もっと親睦が深まるだろうと思いました。是非、ご検討いただければ幸いです。	お世話になりました。ありがとうございました。
2/18/2013 11:25:35	excellent	excellent	good	excellent	good	excellent	excellent	Very nicely prepared and operated.	Sometimes the pace was a bit fast and difficult to follow.



Australasian Cochrane Centre

Monash University
School of Public Health & Preventive Medicine
Level 6, The Alfred Centre
99 Commercial Road
Melbourne VIC 3004 AUSTRALIA
Tel: +61 3 9903 0366
Fax: +61 3 9903 0556
Email: cochrane@monash.edu
Web: <http://acc.cochrane.org>

Sonja Henderson
Managing Editor
Cochrane Pregnancy and Childbirth Group
University of Liverpool

14 May 2012

Dear Sonja,

We have been aware for some time of Dr Mori's plans to establish a Satellite of the PCG and so we are pleased that Rintaro has managed to secure funding for three years to support this activity. The significant number of registered titles, protocols and reviews with Japanese authors certainly justifies the decision to establish a satellite.

Having met Rintaro at the G-I-N meeting in Seoul last year and later some of his colleagues at the Colloquium in Madrid, we are keen to support Rintaro to become the focal point for Cochrane activities more broadly in Japan and see this initiative as an important stepping stone towards that goal.

Japan is also part of the East Asia Cochrane Alliance and having a satellite of a Cochrane Review Group as an example of how to grow and build capacity for reviews in the region will be very important.

We are very supportive of the Japanese Satellite of the PCG and wish Rintaro and his team every success.

Kind regards,

A handwritten signature in black ink, appearing to read "Steve McDonald".

Steve McDonald
Co-Director, Australasian Cochrane Centre
School of Public Health and Preventive Medicine
Monash University

cc Prof Sally Green, Co-Director



The Australasian Cochrane Centre is part of the international Cochrane Collaboration and is supported by the Australian Government Department of Health and Ageing and Monash University.

Japanese Satellite of the Cochrane Pregnancy and Childbirth Group (PCG)

Vision

To achieve the best health and wellbeing possible for women and their babies through excellence and leadership in research, education, and knowledge transfer.

Mission

The objectives of the Cochrane PCG's Japanese Satellite are to:

- support Japanese review authors to prepare and maintain their Cochrane reviews;
- introduce new review authors to the methods of the Cochrane Collaboration, and support them through the processes;
- advocate evidence-based practice, particularly via utilization of Cochrane reviews, for women's and babies' health in Japan and worldwide.

Location

The Satellite of the Cochrane PCG will be based in the National Center for Child Health and Development, 2-10-1 Okura Setagaya-ku Tokyo, 157-8534 Japan. The Co-ordinator of the Satellite, Rintaro Mori, is the Director of Health Policy at the National Centre for Child Health and Development. He has been an author with the Cochrane PCG since February 2006 and an Associate Editor since 2011.

The establishment of the Cochrane PCG's Japanese Satellite will assist the Cochrane PCG in its plans to build capacity in Japan and will improve the Group's communication between the editorial office in Liverpool, UK, and its Japanese authors by supporting and training Japanese authors locally rather than remotely.

Work plan

The Japanese Satellite team will work closely with the editorial team of its parent entity, the PCG, who are based in the editorial office in Liverpool, UK – see Appendix 1 for communication strategy. The Satellite will facilitate the network of Cochrane contributors in Japan outlined by the following main activities.

- 1) In order to generate research evidence of the highest quality that promotes the best health and wellbeing possible for all women and their babies, the Satellite team will:
 - support authors on a one-to-one basis (in person, email or by phone), including

editorial and language support, to produce and maintain high-quality Cochrane systematic reviews;

- organise work-ins and workshops in Japan for new and existing Japanese authors, as well as organise work-ins and workshops alongside relevant national conferences;
 - monitor the number of PCG titles and Cochrane publications involving contributors based in and around Japan (see Appendix 1 and 2);
 - publish at least seven full PCG reviews within 2 years.
- 2) In order to increase capacity in research synthesis, randomised trials and implementation and translational research through career development and education, locally, nationally and internationally, the Satellite team will:
- hold regular local monthly meetings and training sessions;
 - disseminate information on Cochrane related activities in Japanese
- 3) In order to strengthen our existing collaborations and communicate and identify with new international, national and regional collaborations, the Satellite team will:
- ensure communication between the team and other clinical epidemiologists and related organisations in Japan; other maternal and newborn health specialists and related organisations in Japan; consumer organisations in Japan; the Ministry of Health, Labour and Welfare; and other national agencies in Japan;
 - ensure communication between other related organisations worldwide, such as the Thai Cochrane Network, the relevant Cochrane Centre, Department of Reproductive Health and Research (WHO), and other maternal and newborn health specialists in other countries.
- 4) To contribute to the identification of relevant studies, the Satellite's Information Specialist will:
- identify relevant Japanese trials;
 - co-ordinate the translation of relevant Japanese trials into English;
 - identify searching activities to enhance the PCG's current search strategy to ensure that Japanese studies are included in the Group's Register of trials.

The Information Specialist will working closely with the PCG's Trials Search Co-ordinator in Liverpool, UK.

Administration and funding

The administrative office will be set up in the National Center for Child Health and Development where the core staff will be based. The initial cost will be covered by a Research grant awarded by Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan (14,400,000